

2014年4月16日

プレスリリース

本資料は4月16日にチューリッヒで発表されたプレスリリースの翻訳版です

クレディ・スイス・グループ

2014年第1四半期業績を発表

クレディ・スイス・グループの2014年第1四半期業績は、

戦略的事業のコア税引前利益 19億4,000万 CHF

公表コア税引前利益 14億 CHF

戦略的事業の株主資本利益率 14%

公表株主資本利益率 8%

プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門、好調な業績を上げ、税引前利益は、前年同期を上回る10億1,200万 CHFを計上費用削減及び戦略的事業への大幅な資産流入により当該事業の新規純資産160億 CHF、新規純資産合計は137億 CHF

インベストメント・バンキング部門、堅調な利益を計上、税引前利益8億2,700万 CHF

各主要事業が好調な業績

プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門、収益力向上

- ・ 公表税引前利益10億1,200万 CHF、戦略的事業において好調な収益力を示し、税引前利益9億6,500万 CHF（前年同期比28%増）、資本利益率33%
- ・ 大幅な費用効率化を達成、費用/収入比率68%、前年同期の72%に比べ改善
- ・ ウェルス・マネジメント顧客事業のネット・マージンは、2013年第4四半期の23ベーシスポイント（bp）から29bpへ改善
- ・ 戦略的事業における160億CHFもの新規純資産、同部門全体では新規純資産137億CHF、ウェルス・マネジメント顧客事業では、アジア太平洋地域及びス

イス国内から、アセット・マネジメント事業ではオルタナティブ・インベストメント及びインデックス・ストラテジー業務への堅調な資産流入が続く

インベストメント・バンキング部門、堅調な利益計上

- ・ 困難な市況の中、公表税引前利益 8 億 2,700 万 CHF
- ・ 戦略的事業、税引前利益 11 億 2,400 万 CHF、戦略的事業の株主資本利益率 21%
- ・ 証券化商品、信用、引受及びアドバイザーを含む各種主要業務の好調な業績、並びに株式業務の堅調な業績が、金利及び一部のエマージング市場からの、第 1 四半期の時季的な業績貢献度が、過去数年の実績を大幅に下回ったことにより相殺

強靱な資本基盤及びレバレッジ比率

- ・ 2014 年第 1 四半期末現在のルックスルーのバーゼル 3 CET1 比率 10.0%、2014 年第 1 四半期末現在のルックスルーの自己資本比率 15.1%。2013 年第 4 四半期の訴訟問題解決の進展の影響にもかかわらず、強固な資本ポジションを維持、外部的な手法の変更により 2014 年第 1 四半期のリスク加重資産は 135 億 CHF に増加
- ・ 2014 年第 1 四半期末現在のレバレッジ・エクスポージャー 1 兆 1,400 億 CHF。2014 年第 1 四半期末現在の段階的導入中のスイス国内レバレッジ比率 4.8%、2014 年第 1 四半期末現在のルックスルーのスイス国内レバレッジ比率 3.7%。2019 年の 4%要件は達成圏内

コスト削減目標に向かって引き続き進展

- ・ 調整済み年率換算費用削減額は 34 億 CHF となり、2015 年末までの費用削減目標 45 億 CHF 超の達成に向けて引き続き勢いを維持。

非戦略的事業ユニットの漸次縮小の達成に向けて順調に推移

- ・ 非戦略的事業ポートフォリオのレバレッジ削減額 110 億 CHF 及びリスク加重資産削減額 40 億 CHF（手法変更による調整を除く）
- ・ 2014 年に入り第 1 四半期末までに過去の主要訴訟問題の解決に向けて進展、米国法務省との米国国内税務問題の解決に引き続き注力

クレディ・スイス・グループは、2014年4月16日、2014年第1四半期業績を発表しました。

今回の発表について、最高経営責任者（CEO）のブレイディ・ドゥーガンは、次のように述べました。

「2014年第1四半期には、当社は、戦略的事業で株主資本利益率14%を達成し、通期目標15%は達成圏内にあります。今回の好調な業績は、プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門の大幅な収益力の改善、インベストメント・バンキング部門の堅調な利益、並びに引き続き取り組んでいる効果的な費用及び資本の管理によって牽引されました。多くの主要事業にわたって、継続的な顧客取引の勢いを目の当たりにしました。例えば、戦略的事業に2011年第1四半期以来最大の正味資産流入額がもたらされたこと、超富裕顧客層から獲得した運用資産の大幅なシェア拡大などが挙げられます。」

プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門について、「2014年第1四半期には、戦略的事業の収益力が大幅に改善し、税引前利益は、前年同期比28%増を記録しました。ウェルス・マネジメント顧客事業のネット・マージンは、前年同期の23 bpから29 bpに上昇し、超富裕顧客層の運用資産シェアは、前年同期の43%から46%に拡大しました。コーポレート&インスティテューショナル顧客事業は、引き続き、同事業部門全体の業績に大きく貢献しました。アセット・マネジメント事業は、よりの絞った取り組みにより、前年同期に比べ税引前利益が2倍以上に拡大しました。プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門においては、当四半期に、戦略的事業からの新規純資産160億CHFを記録しました。これは主要エマージング市場であるアジア太平洋地域（年率換算成長率17%）、中南米地域及び中東地域内での当社の強み、スイス国内市場での有利な状況、並びにアセット・マネジメント事業内のオルタナティブ・インベストメント及びインデックス・ストラテジーの各業務への堅調な資産流入によるものです。」

インベストメント・バンキング部門について、「同部門の業績は、当社の多角的フランチャイズの強みを具体的に表しています。戦略的事業は、資本利益率21%を記録しました。また、証券化商品、信用、引受及びアドバイザーの各業務は好調な業績を上げ、株式業務も堅調な業績を記録しました。同時に、金利業務と一部のエマージング市場事業の第1四半期の時季的な貢献度は、過去数年に比べ大幅に低下しました。また、株式業務においては、強固な市場シェアをさらに拡大し、引受及びアドバイザー業務では顧客取引において堅調な勢いが見られました。」

戦略的事業の進展状況について、「当社は、高利益率を誇る事業、特にプライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門の成長を図るため、引き続き経営資源配分の最適化を図るとともに、非戦略的事業ユニットの漸次終了を進めています。同時に、強靱なレバレッジ及び資本ポジションを維持し、手法変更による、第1四半期のリスク加重資産の増加にもかかわらず、長期目標の達成に向けて軌道に乗っています。また、過去の訴訟問題の解決に向けて良い進展が見られ、当社の業務効率も向上しています。当社の戦略実行におけるこれらのすべてのポジティブな事態の進展と前進を踏まえ、株主の皆様へ、2013年と同等又はそれ以上の現金配当を行うという当社の方針に変更はございません。」（ドゥーガン CEO）

コア業績サマリー

本業績リリース（株主資本利益率及び資本利益率の記載内容を含む。）に記載されている財務情報に関する追加情報については、当社ホームページにある決算リリースの付属資料（Appendix）の開示財務諸表及び16ページの「重要な情報（Important Information）」セクションにおける資本及びレバレッジ関連指標に関するその他の開示説明資料をご覧ください。

コア業績ハイライト

	1Q14	4Q13	期／期末 1Q13	増減率(%) QoQ	YoY
公表業績(単位:百万CHF)					
純収益	6,469	5,920	7,018	9	(8)
貸倒引当金繰入額	34	53	22	(36)	55
営業費用合計	5,035	6,396	5,191	(21)	(3)
継続事業からの税引前利益／(損失)	1,400	(529)	1,805	—	(22)
株主に帰属する純利益／(損失)	859	(476)	1,303	—	(34)
指標(%)					
資本利益率	14.4	—	18.2	—	—
費用／収入比率	77.8	108.0	74.0	—	—
戦略的事業業績(単位:百万CHF)					
純収益	6,553	6,038	7,018	9	(7)
貸倒引当金繰入額	18	36	16	(50)	13
営業費用合計	4,595	4,554	4,795	1	(4)
継続事業からの税引前利益	1,940	1,448	2,207	34	(12)
株主に帰属する純利益	1,398	1,062	1,579	32	(11)
指標(%)					
資本利益率	21.8	16.5	24.7	—	—
費用／収入比率	70.1	75.4	68.3	—	—
非戦略的事業業績(単位:百万CHF)					
純収益	(84)	(118)	0	(29)	—
貸倒引当金繰入額	16	17	6	(6)	167
営業費用合計	440	1,842	396	(76)	11
継続事業からの税引前損失	(540)	(1,977)	(402)	(73)	34
株主に帰属する純損失	(539)	(1,538)	(276)	(65)	95

注:上記コア業績には、重要な経済的持分を持たない非支配持分は含まれておりません。

2014年第1四半期の株主帰属純利益は、8億5,900万CHFでした。

2014年第1四半期の税引前利益は、14億CHFで、前年同期を22%下回りましたが、これは、純収益が8%減少したものの、営業費用合計が3%減少したことによって一部相殺されたことによ

るものです。戦略的事業の税引前利益は、19億4,000万CHFで、前年同期を12%下回りました。非戦略的事業の税引前損失は、5億4,000万CHFで前年同期を34%上回りました。

2014年第1四半期の**純収益**は、64億6,900万CHFで、前年同期を8%下回りました。戦略的事業の純収益は、65億5,300万CHFで、前年同期を7%下回りましたが、このうちプライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門の収益は安定的に推移しましたが、インベストメント・バンキング部門の収益は前年同期を下回りました。2014年第1四半期の非戦略的事業の負の純収益は、8,400万CHF（前年同期はゼロ）でした。

2014年第1四半期の**貸倒引当金繰入額**は、3,400万CHFで、これは主として、プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門の正味引当金の計上によるものです。

2014年第1四半期の**営業費用合計**は、50億3,500万CHFで、前年同期を3%下回りましたが、これは主として手数料関連費用の減少及び一般管理費の2%減によるものです。戦略的事業の営業費用合計は、45億9,500万CHFで前年同期を4%下回りましたが、これは主として一般管理費の7%減によるものです。非戦略的事業の営業費用合計は、4億4,000万CHFで前年同期を11%上回りましたが、これは主として一般管理費の32%増によるものです。2014年第1四半期に、クレディ・スイス・グループは、正味訴訟関連引当金1億700万CHFを計上しました。2014年第1四半期にコーポレート・センターで認識された事業再編費用は、6,200万CHFでした。

2014年第1四半期の**法人税**は、5億4,300万CHFで、これは各地域の業績の合計によるものであり、米国ニューヨーク州税法改正による影響分1億5,100万CHFも含まれております。全体として、2014年第1四半期末現在の繰延税金資産（純額）は、52億5,600万CHFで2013年第4四半期を5億3,500万CHF下回りました。2014年第1四半期に、繰延損失に対する繰延税金資産は、5,600万CHF増加し、14億3,600万CHFとなりました。2014年第1四半期のコア業績の実効税率は、38.8%（2013年第4四半期は11.9%）でした。米国ニューヨーク州税法改正による影響分を除いた場合、2014年第1四半期のコア業績の実効税率は、28.0%でした。

2014年第1四半期の**継続事業からの希薄化後1株当たり利益**は、0.47CHF（前年同期は0.75CHF、2013年第4四半期の1株当たり損失0.37CHF）でした。2014年第1四半期末現在のクレディ・スイスの発行済株式総数は15億9,610万株で、2013年第4四半期末現在と変わりありません。

資本及びレバレッジ：2014年第1四半期末現在のクレディ・スイス・グループのルックスルーのバーゼル3 CET 1比率は10.0%で、2013年第4四半期と変わりませんでした。2014年第1四半期末現在のルックスルーのバーゼル3自己資本比率は15.1%で、2013年第4四半期と変わりませんでした。

2014年第1四半期末現在のバーゼル3 CET1比率は14.3%（2013年第4四半期末現在は15.7%）でした。これは主としてCET1資本の減少とリスク加重資産の増加によるものです。グループ全体のバーゼル3リスク加重資産は、2013年第4四半期末現在の2,738億CHFから4%増加し、2014年第1四半期末現在で2,860億CHFとなりました。これは、手法及び方針の変更によるリスク加重資産の増加が、事業削減によって一部相殺されたことによるものです。

2014年第1四半期末現在のクレディ・スイス・グループのレバレッジ・エクスポージャーは、1兆1,400億CHFでした（新規長期目標は、約1兆CHF）。2014年第1四半期末現在のルックスルーのスイス国内レバレッジ比率は3.7%でした（2019年の必要要件は4%）。

統合事業モデルのメリット：2014年第1四半期中に、クレディ・スイス・グループは、統合事業モデルから10億CHFのコラボレーション収益を創出しました。この金額は、当グループの2014年第1四半期のコア純収益の15.9%に相当します。

プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門

2014年第1四半期の税引前利益は10億1,200万CHF、純収益は32億4,000万CHFでした。同部門の戦略的事業においては、税引前利益は9億6,500万CHF、純収益は30億3,100万CHFでした。純収益は、2013年第4四半期に比べ減少しましたが、これは主として、時季的に第4四半期のトランザクション及びパフォーマンス・ベースの収益が増加したこと並びに純利息収入の減少によるものです。税引前利益は、前年同期を28%上回りましたが、これは営業費用の減少によるものです。同部門の非戦略的事業においては、4,700万CHFの税引前利益を計上しましたが、2013年第4四半期は、6億2,400万CHFの税引前損失を計上しました。これは、米国税務問題に関連した訴訟関連引当金の大幅な繰入によるものでした。2014年第1四半期の同部門の運用資産残高は1兆2,925億CHFで、同部門は137億CHFの新規純資産を獲得しました。

プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門

	期/期末			増減率(%)	
	1Q14	4Q13	1Q13	QoQ	YoY
公表業績(単位:百万CHF)					
純収益	3,240	3,429	3,278	(6)	(1)
貸倒引当金繰入額	33	44	28	(25)	18
従業員報酬及び給付費用	1,290	1,314	1,379	(2)	(6)
その他の営業費用合計	905	1,647	990	(45)	(9)
営業費用合計	2,195	2,961	2,369	(26)	(7)
税引前利益	1,012	424	881	139	15
指標(%)					
資本利益率	32.3	13.9	29.8	-	-
費用/収入比率	67.7	86.4	72.3	-	-

戦略的事業業績

プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門の戦略的事業業績は、ウェルス・マネジメント顧客事業、コーポレート&インスティテューショナル顧客事業、アセット・マネジメント事業の各事業から構成されています。

プライベート・バンキング & ウェルス・マネジメント部門—戦略的事業業績

	期/期末			増減率(%)	
	1Q14	4Q13	1Q13	QoQ	YoY
戦略的事業業績(単位:百万CHF)					
純利息収入	963	1,038	1,019	(7)	(5)
経常手数料収益	1,139	1,149	1,101	(1)	3
トランザクション及びパフォーマンス・ベースの収益	919	1,137	874	(19)	5
その他の収益	10	(64)	14	-	(29)
純収益	3,031	3,260	3,008	(7)	1
貸倒引当金繰入額	17	27	23	(37)	(26)
営業費用合計	2,049	2,185	2,229	(6)	(8)
税引前利益	965	1,048	756	(8)	28
指標(%)					
資本利益率	33.0	36.8	27.7	-	-
費用/収入比率	67.6	67.0	74.1	-	-

プライベート・バンキング & ウェルス・マネジメント部門の戦略的事業の 2014 年第 1 四半期の税引前利益は 9 億 6,500 万 CHF、純収益は 30 億 3,100 万 CHF でした。

2014 年第 1 四半期の純収益は、前年同期比で安定的に推移しましたが、これはトランザクション及びパフォーマンス・ベースの収益の増加及び経常手数料収益の増加が、純利息収入及びその他の収益の減少によって相殺されたことによるものです。トランザクション及びパフォーマンス・ベースの増収は、プライベート・エクイティの実現利益に対する成功報酬の増加及びコーポレート・アドバイザー・フィー収入の増加が、販売及び取引業務の減収及び外国為替顧客事業の低迷によって一部相殺されたことによるものです。経常手数料収益の増収は、投資口座及びサービス手数料収入、投資顧問報酬及びバンキング・サービス手数料収入の増加が、投資商品運用手数料収入の減少によって一部相殺されたことによるものです。低金利環境において、純利息収入は、前年同期を下回りましたが、これは、平均預金及び貸付残高の増加に対して、預金金利と貸出金利の利ざやが減少したことによるものです。

2014 年第 1 四半期の純収益は、2013 年第 4 四半期を 7% 下回りましたが、これは、トランザクション及びパフォーマンス・ベースの収益の大幅な減少及び純利息収入の減少が、その他の収入の増加によって一部相殺されたことによるものです。トランザクション及びパフォーマンス・ベースの収益の大幅な減少は、時季的に、2013 年第 4 四半期に増加したアセット・マネジメント事業の運用手数料収入の落ち込みが、2014 年第 1 四半期に増加した仲介及び金融商品発行手数料収入並びに販売及び取引収入によって一部相殺されたことによるものです。純利息収入の減少は、平均預金残高の安定的推移及び貸付残高の微増に対して預金金利と貸付金利の利ざやが減少したことによるものです。その他の収益の増加は、2013 年第 4 四半期に計上した Asset Management Finance LLC (AMF) 関連の減損処理によるものです。安定的に推移した経常手数料収益は、主として資産運用手数料収入の減少及び投資商品運用手数料収入の減少が、バンキング・サービス手数料収入の増加及び投資顧問報酬の増加によって相殺されたことによるものです。

貸倒引当金繰入額は、1,700 万 CHF でした。

2014年第1四半期の営業費用合計は、前年同期、2013年第4四半期のいずれをも下回りました。従業員報酬及び給付費用は、前年同期を6%下回りましたが、これは主として給与関連費用の減少（大部分は人員の減少による）及び一般管理費の10%減少（主として、各種費用関連引当金額の減少及び事務所家賃等の減少による）によるものです。2013年第4四半期と比べて、従業員報酬及び給付費用は、安定的に推移しましたが、裁量業績連動報酬金額の微減及び給与関連費用の減少が、繰延従業員報酬の微増によって相殺されたことによるものです。一般管理費は、2013年第4四半期を12%下回りましたが、これは主として支払報酬の減少、各種費用関連引当金額の減少、広告宣伝費の減少によるものです。

2014年第1四半期の戦略的事業の費用/収入比率は、68%で、前年同期に比べ7ポイント下回り、2013年第4四半期に比べ1ポイント上回りました。

ウェルス・マネジメント顧客事業

	期/期末			増減率(%)	
	1Q14	4Q13	1Q13	QoQ	YoY
戦略的事業業績(単位:百万CHF)					
純利息収入	706	760	746	(7)	(5)
経常手数料収益	730	742	717	(2)	2
トランザクション及びパフォーマンス・ベースの収益	638	554	624	15	2
純収益	2,074	2,056	2,087	1	(1)
貸倒引当金繰入額	16	18	19	(11)	(16)
営業費用合計	1,480	1,572	1,614	(6)	(8)
税引前利益	578	466	454	24	27
指標(%)					
費用/収入比率	71.4	76.5	77.3	-	-

ウェルス・マネジメント顧客事業の2014年第1四半期の税引前利益は5億7,800万CHF、純収益は20億7,400万CHFでした。純収益は、前年同期比で安定的に推移しましたが、これは、純利息収入の減少が、経常手数料収益の増加、並びにトランザクション及びパフォーマンス・ベースの収益の微増によって一部相殺されたことによるものです。純利息収入の減少は、平均預金及び貸付残高の増加に対して、預金金利と貸出金利の利ざやが減少する低金利環境、並びに安定資金提供源として分類される預金量の減少によるものです。経常手数料収益は、前年同期を若干上回りましたが、これは、投資口座及びサービス手数料収入の増加、及び投資顧問報酬の増加が、投資商品運用手数料収入の減少（紹介手数料の減少を含む。）によって一部相殺されたことによるものです。トランザクション及びパフォーマンス・ベースの収益は、前年同期を若干上回りましたが、これは、コーポレート・アドバイザー・フィー収入の増加、プレースメント及びトランザクション・フィー収入の増加が、外国為替顧客事業の低迷によって一部相殺されたことによるものです。

2014年第1四半期の純収益は2013年第4四半期と比べて安定的に推移しましたが、これは、トランザクション及びパフォーマンス・ベースの収益が15%増加したものの、純利息収入の7%減と経常手数料収益の微減によって相殺されたことによるものです。トランザクション及びパフォーマンス・ベースの収益の増加は、仲介及び金融商品発行手数料収入の増加、販売及び取引収入の増加によって牽引されたものの、運用手数料収入の減少によって一部相殺されたことによるものです。純利息収入の減少は、安定的に推移した平均預金及び貸付残高に対して、預金金利と

貸出金利の利ざやが減少したことによるものです。経常手数料収益は、若干減少しましたが、これは、投資商品運用手数料収入の減少が、投資顧問報酬の増加によって一部相殺されたことによるものです。

2014年第1四半期のグロス・マージンは、104 bpで、前年同期に比べ3 bp低下しましたが、これは主として、不利な金利環境が続いたことによるものです。2013年第4四半期に対して、グロス・マージンは安定的に推移しましたが、これはトランザクション及びパフォーマンス・ベースの収入の増加が、純利息収入の減少によって相殺されたことによるものです。

2014年第1四半期のウェルス・マネジメント顧客事業のネット・マージンは、29 bpで、前年同期を6 bp、2013年第4四半期を6 bp上回りましたが、これは費用基盤の縮小によるものです。

コーポレート&インスティテューショナル顧客事業

	期/期末			増減率(%)	
	1Q14	4Q13	1Q13	QoQ	YoY
戦略的事業業績(単位:百万CHF)					
純利息収入	257	278	273	(8)	(6)
経常手数料収益	122	108	111	13	10
トランザクション及びパフォーマンス・ベースの収益	117	102	121	15	(3)
その他の収益	(4)	(3)	(5)	33	(20)
純収益	492	485	500	1	(2)
貸倒引当金繰入額	1	9	4	(89)	(75)
営業費用合計	245	263	257	(7)	(5)
税引前利益	246	213	239	15	3
指標(%)					
費用/収入比率	49.8	54.2	51.4	-	-

コーポレート&インスティテューショナル顧客事業の2014年第1四半期の税引前利益は2億4,600万CHF、純収益は4億9,200万CHFでした。純収益は、前年同期を若干下回りましたが、これは主として、低金利環境の結果としての純利息収入の減少、トランザクション及びパフォーマンス・ベースの収益の微減が、経常手数料収益の10%増加によって一部相殺されたことによるものです。経常手数料収益の増加は、主としてバンキング・サービス手数料収入の増加によるものです。

2013年第4四半期に対して、2014年第1四半期の純収益は安定的に推移しましたが、これはトランザクション及びパフォーマンス・ベースの収益の増加及び経常手数料収益の増加が、純利息収入の8%減少によって相殺されたことによるものです。トランザクション及びパフォーマンス・ベースの収益の増加は、販売及び取引収入の増加、仲介及び金融商品発行手数料収入の増加、並びにコーポレート・アドバイザー・フィー収入の増加によるものです。経常手数料収益の増加は、主としてバンキング・サービス手数料の増加が、投資口座及びサービス手数料収入の減少によって一部相殺されたことによるものです。

アセット・マネジメント事業

	期／期末			増減率(%)	
	1Q14	4Q13	1Q13	QoQ	YoY
戦略的事業業績(単位:百万CHF)					
経常手数料収益	287	299	273	(4)	5
トランザクション及びパフォーマンス・ベースの収益	164	481	129	(66)	27
その他の収益	14	(61)	19	-	(26)
純収益	465	719	421	(35)	10
内フィー・ベース収益	438	769	387	(43)	13
貸倒引当金繰入額	0	0	0	-	-
営業費用合計	324	350	358	(7)	(9)
税引前利益	141	369	63	(62)	124
指標(%)					
費用／収入比率	69.7	48.7	85.0	-	-

アセット・マネジメント事業の2014年第1四半期の税引前利益は1億4,100万CHF、純収益は4億6,500万CHFでした。純収益は前年同期を10%上回り、これはフィー・ベース収益が13%増加したことによるものですが、フィー・ベース収益の増加は、プライベート・エクイティの実現利益に対する成功報酬の増加及び資産運用手数料収入の増加によるものです。また、純収益は、2013年第4四半期を35%下回りましたが、これは、時季的に、運用手数料収入及びプライベート・エクイティ・プレースメント・フィーの収入が減少したことによるフィー・ベース収益の減少が、2013年第4四半期に計上したAMF関連減損処理6,800万CHFによって一部相殺されたことによるものです。

2014年第1四半期のフィー・ベース・マージンは49bp（前年同期は46bp、2013年第4四半期は87bp）で、これは主としてフィー・ベース収益の変動によるものです。2014年第1四半期の平均運用資産残高は、前年同期を6.2%、2013年第4四半期を1.3%、それぞれ上回りました。

非戦略的事業業績

プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門の非戦略的事業業績には、旧アセット・マネジメント部門の再編に関連したポジション、小規模市場撤退施策に関連したランオフ（漸次縮小）業務と一部のレガシー・クロスボーダー関連ランオフ業務、訴訟関連費用（主として米国税務問題関連）、ドイツ・オンショア業務の再編の影響分、その他旧コーポレート&インスティテューショナル顧客事業における非戦略的ポジションの縮小、いくつかの金融商品のランオフ及び積極的な削減などが含まれています。

プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門—非戦略的事業業績

	期/期末			増減率(%)	
	1Q14	4Q13	1Q13	QoQ	YoY
非戦略的事業業績(単位:百万CHF)					
純収益	209	169	270	24	(23)
貸倒引当金繰入額	16	17	5	(6)	220
営業費用合計	146	776	140	(81)	4
税引前利益/(損失)	47	(624)	125	-	(62)
指標(%)					
費用/収入比率	69.9	459.2	51.9	-	-

2014年第1四半期の非戦略的事業は、4,700万CHFの税引前利益を計上しましたが、これには、同部門のプライベート・エクイティ・ファンド・オブ・ファンズ及び共同投資事業部門であった Customized Fund Investment Group の2014年1月の売却による、9,100万CHFの資本参加益が含まれています。2013年第4四半期には、同部門の非戦略的事業は、6億2,400万CHFの税引前損失を計上しましたが、これは、米国税務問題に関連した訴訟関連引当金6億CHFの計上によるものです。同引当金には、2014年2月に米国証券委員会 (SEC) との和解に関連した1億7,500万CHFが含まれています。

プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門の運用資産

2014年第1四半期末現在の**運用資産**は、1兆2,925億CHFで、2013年第4四半期末に比べて101億CHF上回りましたが、これは、新規純資産及び積極的な市場動向が、主に非戦略的事業ユニットの事業売却による組織構成上の影響、及び不利な外国為替換算の変動によって一部相殺されたことによるものです。

新規純資産：プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門は、2014年第1四半期に137億CHFの新規純資産を計上しました。戦略的事業ポートフォリオにおいて、ウェルス・マネジメント顧客事業は、106億CHFの新規純資産を貢献しましたが、これはエマージング市場（特にアジア太平洋地域）からの継続的で堅調な流入が、ヨーロッパ市場のクロスボーダー流出によって一部相殺されたことによるものです。アセット・マネジメント事業は、69億CHFの新規純資産を計上しましたが、これはインデックス・ストラテジー事業の大きな貢献による信用商品及び従来型商品への資産流入が債券商品事業における正味資産流出によって一部相殺されたことによるものです。スイス国内のコーポレート&インスティテューショナル顧客事業は、2014年第1四半期に4億CHFの新規純資産を計上しました。非戦略事業ポートフォリオにおいて、23億CHFの正味資産流出がありましたが、これは、一部の事業の撤退によるものです。このうち10億CHFは、非継続事業として区分されました。

プライベート・バンキング & ウェルス・マネジメント部門の運用資産

	期／期末			増減率(%)	
	1Q14	4Q13	1Q13	QoQ	YoY
事業別運用資産(十億CHF)					
ウェルス・マネジメント顧客事業	804.9	790.7	794.4	1.8	1.3
コーポレート&インスティテューショナル顧客事業	254.4	250.0	238.7	1.8	6.6
アセット・マネジメント事業	363.4	352.3	347.0	3.2	4.7
非戦略的事業	25.9	44.4	85.4	(41.7)	(69.7)
事業全体で運用される資産	(156.1)	(155.0)	(153.9)	0.7	1.4
運用資産	1,292.5	1,282.4	1,311.6	0.8	(1.5)
平均運用資産(十億CHF)					
平均運用資産	1,282.1	1,284.6	1,285.4	(0.2)	(0.3)
事業別新規純資産(十億CHF)					
ウェルス・マネジメント顧客事業	10.6	1.7	5.7	-	86.0
コーポレート&インスティテューショナル顧客事業	0.4	4.0	4.5	(90.0)	(91.1)
アセット・マネジメント事業	6.9	(0.5)	8.5	-	(18.8)
非戦略的事業	(2.3)	(1.0)	(2.3)	130.0	0.0
事業全体で運用される資産	(1.9)	0.2	(4.4)	-	(56.8)
新規純資産	13.7	4.4	12.0	211.4	14.2
新規純資産成長率(%)					
新規純資産成長率: ウェルス・マネジメント顧客事業	5.4	0.9	3.0	-	-
新規純資産成長率: アセット・マネジメント事業	7.8	(0.6)	10.5	-	-

インベストメント・バンキング部門

インベストメント・バンキング部門の2014年第1四半期の税引前利益は8億2,700万CHF、純収益は34億1,600万CHFでした。同部門は、困難な市場環境にあっても安定した業績を上げました。戦略的事業において、純収益は、前年同期を11%下回りましたが、これは信用、証券化商品、引受及びアドバイザーの各業務の好調な業績及び株式業務の堅調な業績が、時季的な特徴である第1四半期の金利業務及び一部のエマージング市場からの収益貢献分が過去の年度の実績を大幅に下回ったことによって一部相殺されたことによるものです。2013年第4四半期に対して、2014年第1四半期の戦略的事業は大幅に改善しましたが、これは、時季的に、債券及び株式業務のトレーディング件数及び顧客活動が増加し、引受及びアドバイザー業務の低下を相殺したことによるものです。同部門では、2014年第1四半期に、非戦略的事業ユニットの漸次縮小が前進しましたが、これにはレバレッジ・エクスポージャー、リスク加重資産、資金調達費用の減少が含まれます。

インベストメント・バンキング部門

	期／期末			増減率(%)	
	1Q14	4Q13	1Q13	QoQ	YoY
公表業績(単位:百万CHF)					
純収益	3,416	2,668	3,945	28	(13)
貸倒引当金繰入額	0	8	(6)	(100)	100
従業員報酬及び給付費用	1,521	1,355	1,485	12	2
その他の営業費用合計	1,068	1,869	1,166	(43)	(8)
営業費用合計	2,589	3,224	2,651	(20)	(2)
税引前利益／(損失)	827	(564)	1,300	-	(36)
指標(%)					
資本利益率	13.8	-	20.4	-	-
費用／収入比率	75.8	120.8	67.2	-	-

戦略的事業業績

インベストメント・バンキング部門の戦略的事業は、2014年第1四半期に税引前利益11億2,400万CHF、純収益35億6,300万CHFを計上しました。純収益は、前年同期を11%下回りましたが、これは信用、証券化商品、引受及びアドバイザーの各業務の好調な業績、並びに株式業務の堅調な業績が、エマージング市場及びグローバル・マクロ商品の軟化によって相殺されたことによるものです。戦略的事業の収益は、2013年第4四半期に比べ、大幅に向上しましたが、これは時季的に、債券及び株式業務のトレーディング件数及び顧客活動が増加し、引受及びアドバイザー業務の低下を相殺したことによるものです。

債券販売及び取引業務の2014年第1四半期の収益は、前年同期を大幅に下回り、これは顧客取引活動の大幅な低下、及びグローバル・マクロ商品及びエマージング市場事業の困難なトレーディング状況によるものですが、一部は、証券化商品及び信用商品の好調な業績によって相殺されました。2014年第1四半期の収益は、2013年第4四半期を大幅に上回りましたが、これは時季的に、顧客活動が活発化し、各種債券業務のほとんどに、収益の増加をもたらしたことによるものです。

株式販売及び取引業務の2014年第1四半期の収益は前年同期を下回りましたが、堅調でした。これはキャッシュ・エクイティ及びシステムティック・マーケット・メーカーの収益減少が、デリバティブ収益の増加によって一部相殺されたことによるものです。株式の販売及び取引の収益は、2013年第4四半期を上回りましたが、これはデリバティブ及びプライム・サービスの業績の向上によります。

引受及びアドバイザー業務の2014年第1四半期の収益は前年同期を上回りましたが、これは市場シェアの拡大によるものです。収益は、2013年第4四半期を下回りましたが、これは株式引受及びアドバイザーの両業務の業績の低迷によります。これは、低調な業況によるものです。

インベストメント・バンキング部門—戦略的事業業績

	期／期末			増減率(%)	
	1Q14	4Q13	1Q13	QoQ	YoY
戦略的事業業績(単位:百万CHF)					
債券引受業務	468	483	461	(3)	2
株式引受業務	183	274	157	(33)	17
引受業務合計	651	757	618	(14)	5
アドバイザー及びその他の報酬	180	194	145	(7)	24
引受及びアドバイザー合計	831	951	763	(13)	9
債券販売及び取引	1,609	808	2,028	99	(21)
株式販売及び取引	1,207	1,070	1,316	13	(8)
販売及び取引合計	2,816	1,878	3,344	50	(16)
その他	(84)	(34)	(90)	147	(7)
純収益	3,563	2,795	4,017	27	(11)
貸倒引当金繰入額	0	8	(7)	(100)	100
営業費用合計	2,439	2,319	2,477	5	(2)
税引前利益	1,124	468	1,547	140	(27)
指標(%)					
資本利益率	20.9	8.8	27.5	-	-
費用／収入比率	68.5	83.0	61.7	-	-

営業費用合計は、24億3,900万CHFで、前年同期を2%下回りましたが、これは技術関連費用の減少及び訴訟関連引当金の減少が、時季的な、従業員報酬及び給付費用の増加によって一部相殺されたことによるものです。営業費用は、2013年第4四半期を5%上回りましたが、これは従業員報酬及び給付費用の増加が、一般管理費の減少によって一部相殺されたことによるものです。

2014年第1四半期の収益は、スイス・フランに対する米ドルの平均為替レートの下落による影響(収益にはマイナスの影響、費用にはプラスの影響)を受けました。前年同期との比較では、CHFベースでは、収益は11%減少し、営業費用合計は2%減少しましたが、米ドルベースでは、収益は8%減少し、営業費用合計は3%増加しました。2013年第4四半期との比較では、CHFベースでは、収益は27%増加し、営業費用合計は5%増加しましたが、米ドルベースでは、収益は29%増加し、営業費用合計は6%増加しました。

資本指標: 2014年第1四半期末現在、インベストメント・バンキング部門の戦略的事業は、バーゼル3リスク加重資産1,670億米ドル(2013年第4四半期比110億米ドル増)を計上しましたが、これは外部的な手法変更による60億米ドルの(リスク加重資産の)増加、及び内部的な手法変更による50億米ドルの増加によるものです。同部門の戦略的事業のレバレッジ・エクスポージャーは、7,420億米ドルで、2013年第4四半期からやや拡大しましたが、これは時季的な株式市場の活発化及び信用市場のコミットメントの増大によるものです。

非戦略的事業業績

インベストメント・バンキング部門の非戦略的事業業績には、債券の縮小ポートフォリオ、レガシー金利事業(主として非上場商品及び自己資本比率における資本配賦要件の高い仕組商品)、

バーゼル3に対応しない社債に関連した資金調達費用、並びに以前からの訴訟費用及びその他の小規模の非戦略的ポジションが含まれています。

インベストメント・バンキング部門—非戦略的事業業績

	期/期末			増減率(%)	
	1Q14	4Q13	1Q13	QoQ	YoY
非戦略的事業業績(単位:百万CHF)					
純収益	(147)	(127)	(72)	16	104
貸倒引当金繰入額	0	0	1	-	(100)
営業費用合計	150	905	174	(83)	(14)
税引前利益/(損失)	(297)	(1,032)	(247)	(71)	20
リスク加重資産—バーゼル3対応	16,436	17,549	19,176	(6)	(14)

2014年第1四半期は、インベストメント・バンキング部門の非戦略的事業ユニットの漸次縮小戦略に引き続き進展が見られました。2014年第1四半期の非戦略的事業について、税引前損失2億9,700万CHF、純収益損失1億4,700万CHFを計上しました。純収益損失は前年同期に比べ増加しましたが、これは前年同期に不動産ポートフォリオの売却益7,700万CHFが反映されていたことによるものです。また、業績には、レガシー社債及びトレーディング資産双方のポートフォリオ管理における資金調達費用の改善が反映されています。営業費用合計は、前年同期、2013年第4四半期を下回りましたが、これは訴訟関連引当金の大幅な減少によるものです。

2014年第1四半期末現在の同部門の非戦略的事業のバーゼル3リスク加重資産は、190億米ドルで、2013年第4四半期を10億米ドル下回りました。これは事業削減による30億米ドルの(リスク加重資産の)減少が、手法変更による20億米ドルの増加によって一部相殺されたことによるものです。2015年末までの目標額は60億米ドルです。また、2014年第1四半期末現在の非戦略的事業のレバレッジ・エクスポージャーは790億米ドルで、2013年第4四半期に比べ80億米ドル、すなわち9%減少しました。2015年末までのレバレッジ・エクスポージャーの目標額は240億米ドルです。

コーポレート・センター

コーポレート・センターには、親会社の業務、例えば、グループ・ファイナンス、クレディ・スイス・グループがスポンサーとなっているプロジェクトにかかる費用、事業部門に配分されていない一部の費用及び収益などが含まれています。また、グループ内企業間の収益及び費用を除外するために必要な連結及び除去調整分も含まれています。

コーポレート・センター

	期/期末			増減率(%)	
	1Q14	4Q13	1Q13	QoQ	YoY
公表業績(単位:百万CHF)					
純収益	(187)	(177)	(205)	6	(9)
貸倒引当金繰入額	1	1	0	0	-
従業員報酬及び給付費用	166	119	126	39	32
その他の営業費用合計	85	92	45	(8)	89
営業費用合計	251	211	171	19	47
税引前損失	(439)	(389)	(376)	13	17
非戦略的事業業績(単位:百万CHF)					
純収益	(146)	(160)	(198)	(9)	(26)
貸倒引当金繰入額	0	0	0	-	-
営業費用合計	144	161	82	(11)	76
税引前利益/(損失)	(290)	(321)	(280)	(10)	4

コーポレート・センターは、2014年第1四半期に税引前損失4億3,900万CHFを計上しました。これには、自社社債の公正価値評価損9,200万CHF、ストラクチャード・ノート負債の借方評価調整に伴う損失400万CHF、単独デリバティブの公正価値評価損2,400万CHFが含まれており、この結果、自社の信用スプレッドの変動による評価損1億2,000万CHFが2014年第1四半期に計上されました。2014年第1四半期の業績には、また、事業再編費用6,200万CHF、IT構築関連費用6,100万CHF、不動産売却益3,400万CHFも含まれています。前年同期は3億7,600万CHFの税引前損失、2013年第4四半期は3億8,900万CHFの税引前損失でした。

貸借対照表、株主資本及び規制資本
貸借対照表

2014年第1四半期末現在の資本合計は8,781億CHFで、2013年第4四半期に比べ安定的に推移しました。これは、業務活動が若干増加したものの、外国為替換算の影響によって一部相殺されたことによるものです。外国為替換算による影響分を除いた場合、資産合計は97億CHF増加しました。

株主資本合計

クレディ・スイス・グループの2014年第1四半期末現在の株主資本合計は、432億CHFで、2013年第4四半期末現在の422億CHFを上回りました。株主資本合計は純利益、株式ベースの報酬の影響、Tier 1参加証券の償還に関連した、非支配株主からの子会社の株式の取得によって影響を受けました。これらの増加は、外国為替関連の変動が累積換算調整にもたらす影響、自己株式の買戻し及び売却によって一部相殺されました。

資本発行及び償還

2014年3月、クレディ・スイス・グループは、公開買付手続きに従って、7.875%の既発行シリーズB Tier1 永久参加劣後債(perpetual series1 B subordinated tier 1 participation securities)の14億米ドルを買戻しました。その後、公開買付の対象ではなかった当該証券の9,900万米ドル分のコール条項を行使しました。この結果、既発の当該証券は残っておりません。今回の公開買付の発表前に、FINMAのアドバイスに従って、これらのTier 1参加証券は、スイス国内要件に基づくスイス国内CET 1資本の一部を構成していましたが、バーゼル3においては

段階的撤廃の対象となる追加的 Tier 1 証券に含まれておりました。今回の一連の取引は FINMA の承認を受けています。

2014 年 3 月、5 億 CHF の「コンティンジェント・キャピタル報酬 (Contingent Capital Awards : CCA)」を 2013 年の繰延変動報酬の一部として一部の従業員に付与しました。また同月、2011 年度の「パートナー・アセット・ファシリティ (Partner Asset Facility: PAF2)」を有する従業員にも、各自の PAF2 保有分の一部を CCA に再配分しました。CCA は、ハイトリガー規制資本として適格性を備えています。

規制資本及び比率－バーゼル 3

2014 年第 1 四半期末現在の CET 1 比率は 14.3% で、2013 年第 4 四半期の 15.7% を下回りましたが、これはリスク加重資産の増加及び CET 1 資本の減少によるものです。クレディ・スイス・グループの 2014 年第 1 四半期末現在の Tier 1 比率は 15.6%、2013 年第 4 四半期末現在は 16.8% でした。2014 年第 1 四半期末現在の自己資本比率は 19.1%、2013 年第 4 四半期末現在は 20.6% でした。

2014 年第 1 四半期末現在の CET 1 資本は 409 億 CHF で、2013 年第 4 四半期末現在の 430 億 CHF を下回りましたが、これは主として当期より CET 1 からの控除項目 (のれん、及びその他の無形資産並びに一部の繰延税金資産を含む) に係る段階的控除が 0% から 20% になったこと、退職給付会計に関する調整において当該基礎項目が 20% 減少したことによります。CET 1 資本は、四半期の配当金の発生、外国為替換算のマイナス影響分により影響を受けましたが、純利益及び株式報酬の影響によって一部相殺されました。

追加 Tier 1 資本は、37 億 CHF に増加しましたが、これは主として 5 億 CHF の CCA の発行、CET1 資本での段階的控除 20% 開始による、追加 Tier1 資本での控除額減少 (のれん及びその他の無形資産並びにその他の減資を含む) が、2014 年 3 月に実施した Tier 1 参加証券の償還によって一部相殺されたことによるものです。2014 年第 1 四半期末現在の Tier 2 資本は、若干減少して 100 億 CHF となりました。

2014 年第 1 四半期末現在の適格資本合計は、2013 年第 4 四半期末現在の 563 億 CHF に対して 546 億 CHF でしたが、これは CET 1 資本の減少が、追加 Tier 1 資本の増加によって一部相殺されたことによるものです。

2014 年第 1 四半期末現在のルックスルーの CET 1 比率は新規長期目標の 11.0% に対して、2014 年第 1 四半期末現在 10.0% でした。

資本比率及びレバレッジ比率－バーゼル 3

期末現在	段階的实施		ルックスルー	
	1Q14	4Q13	1Q14	4Q13
BIS 基準資本比率 (%)				
CET1 比率	14.3	15.7	10.0	10.0
Tier 1 比率	15.6	16.8	12.8	12.8
自己資本比率	19.1	20.6	15.1	15.1
レバレッジ比率 (%)				
スイス国内レバレッジ比率	4.8	5.1	3.7	3.7

2014年第1四半期末現在のスイス国内 CET 1 資本比率は 14.2%、スイス国内自己資本比率は 19.0%であり、これに対してスイス国内資本比率段階的導入要件は、それぞれ 6.75%、10.18% でした。

ルックスルー・ベースでは、2014年第1四半期末現在のスイス国内の CET 1 資本は 277 億 CHF、スイス国内 CET 1 比率は 9.9%でした。ルックスルー・ベースの、2014年第1四半期末現在のスイス国内の適格自己資本は 420 億 CHF、スイス国内自己資本比率は 15.0%でした。

スイス国内レバレッジ比率

2014年第1四半期末現在のスイス国内レバレッジ比率は 4.8%、合計平均エクスポージャーは 1 兆 1,376 億 CHF でした。2014年第1四半期末現在の合計エクスポージャーは、1 兆 1,400 億 CHF でした。クレディ・スイス・グループの新規長期目標は約 1 兆 CHF です。2014年第1四半期末現在のルックスルーのスイス国内レバレッジ比率は 3.7%であるのに対し、2019年の必要要件は 4.0%です。

###